旧宮野小学校等解体工事 設計 図

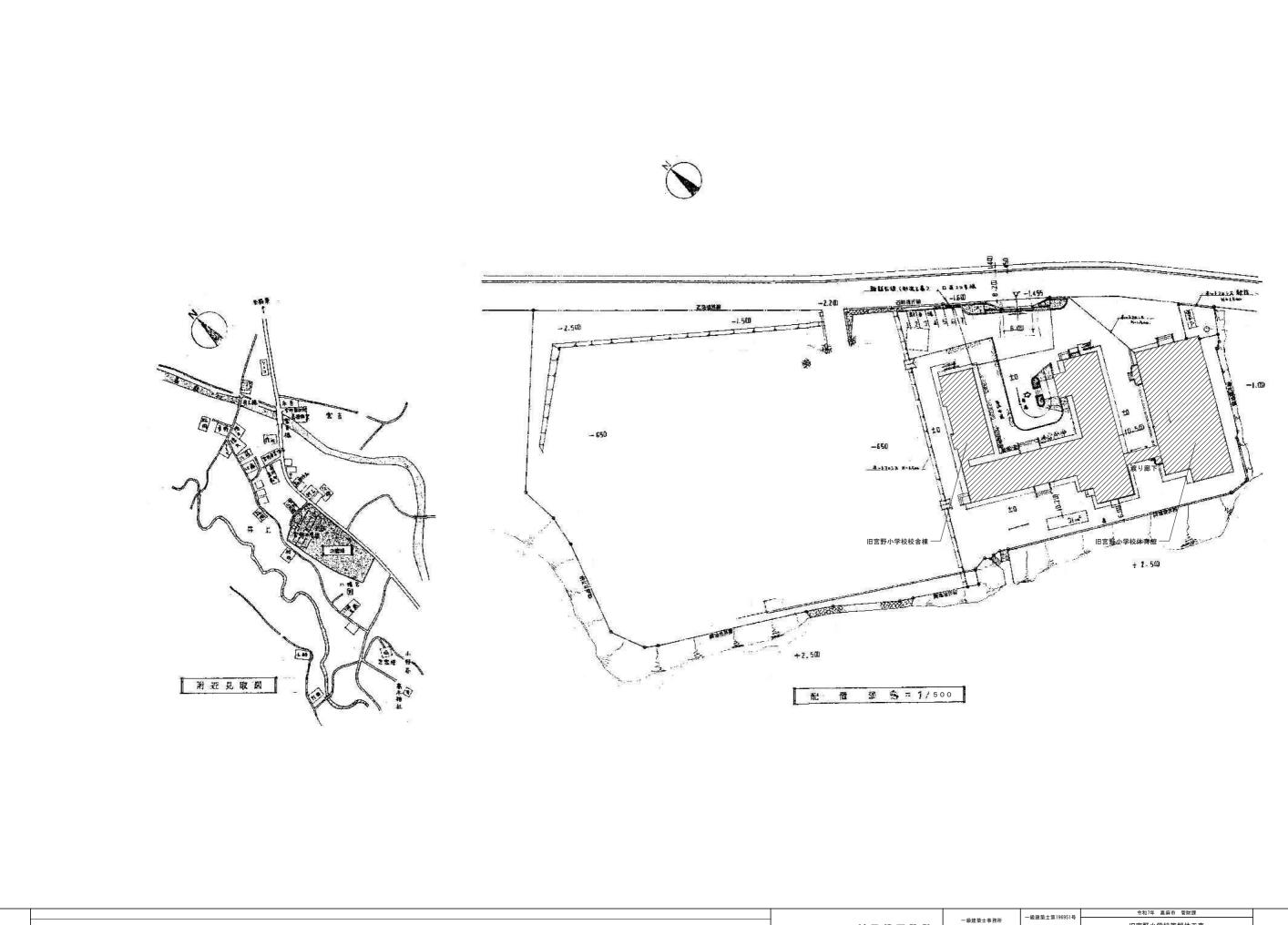
		意	匠·構 造				電気設備		機械設備
番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称		図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
	図面目録	A-039	校舎棟 家庭科教室·準備室 平面詳細図 展開図	S-001	校舎棟 配置図、土質柱状図	E-001	校舎棟 電気設備 特記仕様書	M-001	校舎棟 機械設備特記仕様書
N-001	解体工事特記仕様書(1)	A-040	校舎棟 家庭科教室 調理台配置図 詳細図	S-002	校舎棟 杭伏図	E-002	校舎棟 構内配電線路図	M-002	工事概要、機器表、衛生器具表
A-002	解体工事特記仕様書(2)	A-041	校舎棟 1階廊下 展開図	S-003	校舎棟 基礎伏図	E-003	校舎棟 幹線動力、コンセント設備1階平面図	M-003	屋外配置図、受水槽詳細図
A-003	附近見取図・配置図	A-042	校舎棟 2階廊下 展開図	S-004	校舎棟 2F梁伏図	E-004	校舎棟 幹線動力、コンセント設備2階平面図	M-004	校舎棟 機械設備 1階平面図
A-004	校舎棟 仕上表(1)	A-043	校舎棟 エキスパンションジョイント部 詳細図	S-005	校舎棟 RF梁伏図	E-005	校舎棟 幹線動力設備R階平面図	M-005	校舎棟 機械設備 2階平面図
A-005	校舎棟 仕上表(2)	A-044	校舎棟 雑詳細図(1)	S-006	校舎棟 1階柱リスト図	E-006	校舎棟 電灯設備1階平面図	M-006	校舎棟 機械設備 屋上平面図
A-006	校舎棟 平面図(1)	A-045	校舎棟 雑詳細図(2)	S-007	校舎棟 2階柱リスト図	E-007	校舎棟 電灯設備2階平面図	M-007	体育館 機械設備 平面図
A-007	校舎棟 平面図(2)	A-046	校舎棟 渡り廊下 詳細図	S-008	校舎棟 梁リスト	E-008	校舎棟 構内交換、拡声、電気時計、テレビ、 インタホン設備1階平面図		
A-008	校舎棟 平面図(3)	A-047	校舎棟 正門門柱、門扉、フェンス 詳細図	S-009	校舎棟 ラーメン図	E-009	校舎棟 構内交換、拡声、電気時計、テレビ、 インタホン設備2階平面図		
A-009	校舎棟 立面図	A-048	校舎棟 ダムウエーダー詳細図	S-010	校舎棟 階段配筋図	E-010	校舎棟 テレビ設備R階平面図		
A-010	校舎棟 断面図	A-049	校舎棟 建具詳細図	S-011	校舎棟 スラブ壁 雑配筋図	E-011	校舎棟 火災報知設備1階平面図		
A-011	校舎棟 矩計図(1)	A-050	校舎棟 建具表(1)	S-012	校舎棟 雑配筋図	E-012	校舎棟 火災報知設備2階平面図		
A-012	校舎棟 矩計図(2)	A-051	校舎棟 建具表(2)	S-013	体育館 平面図	E-013	体育館 電灯設備平面図		
A-013	校舎棟 生徒便所 断面詳細図	A-052	校舍棟 調理機具設備詳細表	S-014	体育館 屋根伏図	E-014	体育館 コンセント、拡声、インターホン設備平面図		
A-014	校舎棟 玄関・校長室・放送室 平面詳細図 断面詳細図	A-053	校舎棟 調理機器配置図	S-015	体育館 立面図	E-015	体育館 火災報知設備平面図		
A-015	校舎棟 生徒昇降口詳細図	A-054	体育館 仕上表	S-016	体育館 基礎伏図				
A-016	校舎棟 食品庫・下洗室・厨房便所・休憩室 断面詳細図	A-055	体育館 平面図	S-017	体育館 下屋屋根伏図				
A-017	校舎棟 休憩室・職員便所断面 詳細図	A-056	体育館 屋根伏図	S-018	体育館 小屋伏図				
A-018	校舎棟 北側出入口・足洗 詳細図	A-057	体育館 立面図	S-019	体育館 軸組図(1)				
A-019	校舎棟 A屋内階段詳細図	A-058	体育館 矩計図(1)	S-020	体育館 軸組図(2)				
A-020	校舎棟 B屋内階段詳細図	A-059	体育館 矩計図(2)	S-021	体育館 軸組図(3)				
A-021	校舎棟 A屋外階段詳細図	A-060	体育館 天井伏図	S-022	体育館 軸組図(4)				
A-022	校舎棟 B屋外階段詳細図・休憩室・職員便所 平面詳細図	A-061	体育館 展開図(1)	S-023	体育館 部材リスト				
A-023	校舎棟 天井伏図	A-062	体育館 展開図(2)	S-024	体育館 基礎配筋図				
A-024	校舍棟 普通教室 平面詳細図 展開図	A-063	体育館 建具表	S-025	体育館 詳細図(1)				
A-025	校舎棟 生徒便所 平面詳細図 展開図	A-064	体育館 部分詳細図	S-026	体育館 詳細図(2)				
A-026	校舎棟 1階 2階 生徒便所 展開図	A-065	フェンス・付属建家・建造物(1)	S-027	体育館 詳細図(3)				
A-027	校舎棟 図書室 平面詳細図 展開図	A-066	記念碑詳細図	S-028	体育館 詳細図(4)				
A-028	校舎棟 厨房・食品庫 平面詳細図 展開図	A-067	樹木配置図						
A-029	校舎棟 食品庫・下洗室・厨房便所・売店・印刷室 平面詳細図 展開図	A-068	樹木リスト図						
A-030	校舎棟 1階2階 配膳室	A-069	付属建家詳細図						
A-031	校舎棟 職員室・更衣室・保健室 平面詳細図 展開図	A-070	外構側溝図						
A-032	校舎棟 更衣室・保健室 展開図	A-071	解体後整備図						
A-033	校舎棟 職員便所展開図	A-072	仮設計画図						
A-034	校舍棟 理科教室 平面詳細図 展開図								
A-035	校舎棟 理科教室実験台配置図 詳細図								
A-036	校舎棟 2階配膳室・音楽教室・準備室 平面詳細図 展開図								
A-037	校舎棟 図工教室・準備室 平面詳細図 展開図								
A-038	校舎棟 図工教室工作台配置図 詳細図								

A .	株式会社 村田相互設計
	MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.

	一級建築士第196951号	令和"
一級建築士事務所 島県知事登録 24(1)第 1573号	一柳 茂弥	旧宮野
岡県知事登録 第1-11670号	承 認	

T 本 板 要 等 特 品C 位 株 書 「国による環境物品等の調達の推進等に8 の成液できる材料を選定すること。 指定品目、判断基準は「福岡県理境物品等 の調達の推進等に8 の成液できる材料を選定すること。 指定品目、判断基準は「福岡県理境物品等	の超過積載を行わないこと。さし枠の装置等又は物品 ウは工事現場内に出入りさせないこと。 の部分に汚損が生じた場合、または障害物等を移 変元する。 こよる。	① 監督員事務所 ③ 仮設工事用水 工事用電力 危険防止	新可申録・届出等 提出名 労働基準法に関する各種届出 労働基準監督署 工事請負者 労働基準法に関する各種届 労働基準監督署 工事請負者 を	照体作業	(1) 什器・備品類等の数去(特記されたものに限る) (2) 有害廃棄物の撤去 1) アスペスト含有物の撤去搬出 2) PCBの処理 3) ハロシ・フロンの処理 (3) 処理方法の異なるものの撤去搬出 1) 蛍光管 2) 電線 3) その他第2章第4項による分類 (4) 内装材、造作材の数去搬出
2. 工事場所 福岡県嘉麻市宮吉528番他 3. 工事種目 A. 校舎棟 鉄筋コンクリート造 2階建 解体撤去 1式 (1 正事写真等 (1 工事写真等 (2 原形復旧 (3 原形復旧 (4 京都建 解体撤去 1式 (5 原子真無形式イドラック等による工事用護機材等 放 りまわしを行った場合は、原料の また 1 を	D担適機載を行わないこと。さし枠の装置等又は物品	③ 仮設工事用水 ③ 工事用電力	**設ける () mf程度 ① 設けない 解 (2.3.1) 、改 (2.3.1) 備品については監督員の指示による。 構内既存の施設 ・ 利用できる (※有債 ・ 無債) ※利用できない		3) ハロン・フロンの処理 (3) 処理方法の異なるものの撤去搬出 1) 蛍光管 2) 電線 3) その他第2章第4項による分類
現職装置の不正改造をしたダンプトラック 現職装置の不正改造をしたダンプトラック 現職装置の不正改造をしたダンプトラック 東非に際し、取合部その他本工事範囲外の 設計 投稿 投稿 大きな 大きな 大きな である 大きな 大	7 は工事現場内に出入りさせないこと。 7 部分に汚損が生じた場合、または障害物等を移展元する。 こよる。 組成び解体工事編」参照) 一部数 原版の大きさ 信 考	③ 仮設工事用水 ③ 工事用電力	個品については監督員の指示による。 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有債 ・ 無債) ※利用できない		1) 蛍光管 2) 電線 3) その他第2章第4項による分類
A. 校舎様 鉄筋コンクリート造 2階建 解体搬去 1式 体育館 鉄骨造 1階建 解体搬去 1式 B. 外構搬去 1式 C. 電気設備搬去 1式 D. 機械設備搬去 1式 I 解体工事等仕様 1. 標 準 仕 様	復元する。 よる。 よる。 総数 原版の大きさ 債 売 ※1部 24×36以上 監督員の承諾する ・ 又はデジ54画像 撮影者 ・ 又はデジ54画像 撮影者	(K)			3) その他第2章第4項による分類
A. 校舎様 鉄筋コンクリート達 2階建 解体搬去 1式 体育館 鉄骨速 1階建 解体搬去 1式 B. 外構搬法 1式 C. 電気設備搬去 1式 D. 機械設備搬去 1式 I 解体工事等仕様 1. 標 準 仕 様 I 解体工事等仕様 1. 標 準 仕 様 I 解体工事等仕様 1. 標 準 仕 様 I 要等異等 I 要等異等 I 要求異等 I 要素 I		*	構内既存の施設 ・利用できる(※有債 ・無債) ※利用できない		(4)内装材、造作材の撤去搬出
体育知 妖帝進 附建 解体被去 式 B. 外構撤去 式 C. 電気設備撤去 式 D. 機械設備撤去 式 I. 標本 仕様 1. 標準 仕様 E. かりつ ※サービス版 ※サービス版 ・モノクロ ・ビデオ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	部数 原版の大きさ 信 名	4. 危険防止			(5)外装材の撤去搬出
C.電気設備撤去 1式 ・モノクロ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ 又はデゲ列画像 撮影者 ※1部 24×36以上 監督員の承諾する ・ 又はデゲ列画像 撮影者		仮囲い等 ・ 設けない ※設ける		(6) 建具撤去搬出 (7) 屋根葺材の撤去搬出
D. 機械設備撤去 1式 II 解体工事等仕様 1. 標 準 仕 様	- 又はデジタル画像 撮影者		設置方法 ・成形銅板 (H= m) ・ 亜鉛引鉄板 (H= m) ・ シート張り (図示による)		(8) 床材の撤去搬出 (9) 地上部構造材の撤去搬出
D. 機械設備撤去 1式 ・ビデオ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			ゲート ・シート (W= m) ・パネル (W= m) ・ハンガー (W= m)		(10) 埋め戻し及び整地
1. 標 準 仕 様			垂直防護施設 ・ メッシュシート ・ 防炎シート ・ 枠付き金網・ 防音シート ・ アルミ防音パネル ・ ()	9 集結作業	(1) 仮設物の撤去 (2) 障害物等の原形復旧
	※1部 24×37以上 監督員の承諾する		水平防護施設 ・防護柵(朝鮮) - ダブルネット 防護施設等取付足場		(3) 損傷部分の原形復旧 (4) 竣工図書及び建設副産物処理結果報告書・再資源利用実施書の提出
図面及び物紀柱標書に記載されていない事項はすべて国土交通者大臣原房官庁警結部監修「建築物解体工事共通仕様書」	専門業者		・ 単管一本足場 ・ 枠組本足場 (W= m) ・ ()		(5) 竣工検査立ち会い
(令和 4 年版) 」、及び同上監修「公共建築工事標準仕稼書(建築工事編)(令和 4 年版)」、「公共建築改修工事標準仕稼書 (建築工事編)(令和4年版)」による。 (10) 完成図 種類及び記入内容	(標仕1.7.2)		設置範囲 ※図示による ・ 監督員の指示による 設置期間 ※工事期間中 ・ 監督員の指示による		(6) 工事完了時は地中部分の撤去状況を確認するため、監督員の指示に従いバックホウを準備 しておくこと。
2. 特 記 仕 様 ※「様仕」表1. 7. 1による 1) 項目は番号に〇印のついたものを適用する。			手すり先行足場について	⑥ ① 現場代理人	現場代理人とは、工事請負規約書に規定する現場代理人という。
〇印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 内容の変更時は変更があった日から 1 0 日 ル	E事について、受注時は契約後10日以内に、登録 以内に、完成時は完成後10日以内に、工事実績情		足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省 基発 第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドラインにより、「働きやすい	アスペ ② 作業管理者	石綿作業主任者の資格を有する作業管理者とする。 改 (9.1.2)
○ のいと物印のついた場合は、共に適用する。 報サービス (CORINS)に基づき、「別 3)特記事項に記載の 解 ()は、建築物解体工事共通仕様書、(様仕)は、公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) を受けた後に、(一財)日本建設情報総合・1	書設情報実績」を作成し、○○市契約担当課の確認 センターに提出しなければならない。		安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、 足場の組立て、解体又は作業の変更は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」	スト 合 3 除去処理作業	工事請負者は、除去作業管理者を選任し、除去工事現場に常駐させること。
また改 () は、公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) の当該項目、当該図、または当該表を示す。 4) 形状寸法の単位は特配なきかぎり、ミリメートルとする。 環に提出しなければならない。	発行の「登録内容確認書」の写しをOO市契約担当		の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。	有 建 管理者の選任 材	除去作業管理者は、除去作業全般を統括すること。
章 項目 特記事項	B区博多駅東3-11-28 博多サンシティビルⅡ 6階	5. 構台	養生構合 ・ 設置する (図示による) ・ 設置しない 乗入れ構合 ・ 設置する (幅員 m、長さ m) ・ 設置しない	味 名 保 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	除去作業従事者は、下記のあげる事前教育及び健康診断を受けた者で工事請負者の発 行する作業手帳を有し、除去作業管理者の指示を受け作業を行うこと。
① 工事範囲 ○ 建築物 ・地上部 ・地下部 ○ 杭 ・ (引抜き工法) (一財)	日本建設情報総合センター九州地方センター 2-411-3664 FAX 092-411-3486	(6) 工事表示板等	整督員の指示による。	現場管	科目 節囲 時間 石総等の有害性 石総の性状、石綿による疾病の病理及び病状 0.5時間
① 電気設備 ・建物内配管配線 ・電気設備機器・()) ・建物への引込線 ・敷地への引込線(廃止) ① 解体対象物の調査 アスペスト含有建材の有無		(7). 工事車両の出入口	工事用車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。	等	石總等の使用状況 石總を含有する製品の種類及び用途、事前調査の方法 1時間 石總等の粉じんの 建築物又は工作物の解体等の作業の方法、湿潤化の方法
使			交通誘導員 ① 配置する (30名以上) ・ 配置しない]	発散を抑制するた 作業場所の隔離の方法、その他石綿等の粉じんの発散を 助め処置 抑制する為の処置についての必要な事項
週事 ・ 建物への引込管 ・ 敷地への引込管 (玉下ろし) 調 ピット (浄化槽、便槽) 汚泥の有無 項 ・ () 査 使用されていた酸、アルカリ、薬品等の	有無	1. 埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (標性3.2.3)]	保護器具の使用状況 保護具の種類、性能、使用方法及び注意事項 1時間 その他石綿等のば 労働安全衛生法(昭和47年法律57号)、労働安全衛生法施行令
・ 空間設備 ・ 建物内配管 ・ 空間設備機器 ・ () 計		4 2. 建設発生土の処理 +	※現場説明書による 構内指示の場所に堆積 構内指示の場所に敷き均し		〈霧の防止に関し (昭和47年政本第38号) (労働安全衛生規則 (昭和47年労働省 必要な事項 会32号) 及び石綿障害予防規則中の関係条項、石綿等による健 1時間
・ 近初の風池		主事 ③ 地均し	- 不陸直し ()		1735つ)及び11時間を「100次円110以間除来域、11時間による短 庫障害を防止するため当該関係条項、石綿等による健康障害を 防止するため当該業務に付いて必要な事項
・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ (・ ()	4. 山留め工事	- のり切りオーブンカット工法 - 自立山留め工法 (・ 親杭横矢板 ・ シートパイル)		除去作業に従事する作業者は事前に、一般健康診断(石稿を取り扱う場合は6ヶ
() 全式が19			・山留め壁(・ 親杭横矢板 ・ シートパイル ・ 柱列 ・ 連続壁)		月ごと)・じん肺健康診断・アスベストに関する特化則による健康診断の実施につい ては、下記の記載の場合は除くことができる。
・廃PCB・特定フロンガス () 廃石綿等 ・ () 地下水位の調査			・ 水平切りばり工法 ・ アースアンカー工法		ア. じん肺健康診断 ・除去処理作業に従事する期間において、3年以内に診断を実施した者とする。
文件器、備品類等の撤去 建物管理者 工事該負者 ③ 工事説明会 近隣への工事説明会 ※行う	・ 行わない		- (イ. 石綿障害予防規則による健康診断 ・除去処理作業に従事する期間において、6ヶ月ごとに診断を実施した者とする。
	を物の処理について	5. 排水工事	・ かま場排水・ ヴェルポイント工法・ 井戸排水・ ディープウェル工法	⑤ 安全対策及び協議	安全衛生に関する管理者は、現場代理人が選任者になり、関係法令等に従ってこれを
フロン、ハロン使用機器 ※ 産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進す			- (]	行う。また着工に先立って工期・工事方法及び安全の為の立入禁止区域の設定等につ いて当該施設関係者、監督員と十分に協議し施工計画に盛り込むこと。
別し指定された場所へ集積すること。	いては、現場内において発生する品目ごとに分	使用機器及び機材	使用する建設機械等については、低騒音型・低振動型・排気ガス対策型とする。		施工の確認及び報告 (1)アスペスト管理地区を設定し、養生が完了した段階。
別保管場所(他業者の分別したものを含む)	を設置するとともに、再生資源の利用の促進に解体	(b) ② とりこわし 解 体	木造の解体 内装材、造作材の撤去 ※手ごわし ・ 機械解体 ○ 両者併用		(2) アスペスト含有吹付け材の除去作業が完了した段階。 (3) アスペスト粉じん濃度の測定整備が完了した段階。
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 する法律 する法律 建設廃棄物処理方針その他関係計	と等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関 エ 者法令等によるほか、建設副産物適正処理推進 事	*	外装材屋根葉き材の撤去 ※手ごわし 機械解体 (・)両者併用 軸組構造材の撤去 ※機械、手ごわし併用 ()		(4) 内部足場を取り外す前の段階。 (5) その他監督員により指示のあった時。
建築改修工事監理指針 国土交通省 要欄に従い、指定された方法により適正に急 建築工事安全施工技術指針 国土交通省 工事に際しては、工事着手時に建設副を非	B理を行うこと。 物処理計画書、再生資源利用計画書等を、工事		基礎、土間の撤去 ※圧砕機、ブレーカ併用 ・ () 鉄骨造の解体	⑥ 濃度の測定	アスペスト粉じん濃度の測定
建設工事公衆災害防止対策要網 国土交通省 <u>竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再</u> 。 建設副產物適正処理推進要網 国土交通省 <u>指定副產物(原則として再資源化施設</u>			内装材、造作材の撤去 ※手ごわし 機械解体 <mark>・</mark> 両者併用 外装材屋根葺き材の撤去 ※機械、手ごわし併用 ・ ()		(1) 工事請負者は、除去処理工事の工事着工前、工事中及び除去完了後の作業所内 周辺環境及び監督員が指示する箇所において空気中のアスペスト濃度測定を行うこと。
建設廃棄物処理指針 厚生労働名生活衛生局 ① がれき類(コンクリート境)(アス 解体工事安全施工指針 建設業労働災害防止協会 ② 木くず	◯ ガラス、陶磁器くず		鉄骨部材の撤去 ※ガス切断 鉄骨切断カッター 基礎、土間の撤去 ※圧砕機、ブレーカ併用 ()		(2) 測定方法はJIS K 3850-1 (空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法 及び走査電子顕微鏡法) による。
石綿粉じんへのばく露防止マニュアル 建設業労働災害防止協会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	⊙ 廃石こうボード・ 金属くず ○ 繊維くず		R C 造、S R C 造の解体 内装材、造作材の撤去 ※手ごわし - 機械解体 ① 両者併用		(3)測定は、厚生労働省・都道府県基準局に登録されている作業測定機関又は、これと同等の技術を有するものに委託し、その測定機関が証明する測定結果を監督員に
石綿障害予防規則 厚生労働名労働基準局 特別管理産業廃棄物 特定化学物質等障害予防規則 厚生労働名労働基準局	<u> </u>		地上部分の撤去 ※圧砕機、ブレーカ併用 圧砕機、転倒併用 ()		提出する。
	対策マニュアル(環境省大気保全局)」及び、 を行)」に従い、収集・運搬・処分を行う。		地下部、基礎部の撤去 ※任砕機、ブレーカ併用 () 鉄骨部材の撤去 ※ガス切断 鉄骨切断カッター	7 1. 施工調査等 ア	施工調査等は、特記による。特記がなければ、次による。 (i) 処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査等を次の事項について行う。
③ 適用範囲等 すべての設計図書は相互に補完するものとする。 解 (1.1.1) 改 (1.1.1) 改 (5.1.1)	が「ボリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推	③ 杭の撤去	引き抜き工法	^	調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 ① アスペスト含有吹付け材使用部位の確認
	Bの作成・届出を行うとともに、適正に保管でき		・ 直接引き抜き ・ プレポーリング ・ パイプロケーシング ・ ケーシングジャッキ ◆ ケーシングオーガーウォータジェットエ法	含有	② アスペスト含有吹付け材層の厚さの確認 ③ 施工範囲と工事管理区分の確認
(2) 現場説明書 (3) 特配仕様書			引抜き後の杭穴は、真砂土で埋め戻しをすること。	行 け 材	④ 更太施設等の仮設計画 ⑤ 廃棄物などの搬出方法
	請負業者が誠意を持ってこれに対処し、その内容		杭すべて引抜きできなかった箇所、杭が設置されていなかった箇所など、記録を残すこと。 粉砕工法	n 除 去	(ii) アスペスト粉じん選皮測定 ① アスペスト粉じん選皮測定 ① アスペスト粉じん選皮測定は、特配がなければ、表9.1.9による。
仕様書(以下「標仕」という。)、公共遵張改修工事標準仕様書(以下「改修標仕」という。)	放去・移動もしくは保護処置を行う場合は、監督員の		・ドーナツオーガー ・ロックオーガー ・深基礎	事	測定時期 位置 個所 作業開始前 ・図示による ・ ()
女化財その他埋蔵物 工事の施工に当たり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員 に報告する。その後の措置については、、監督員の指示に従う。 解 (1.1.12) 改 (1.1.12)	THE PARTY OF THE P	4 安全対策等	・ オールケーシング(ベノト) ・ () 工事に際しては、墜落災害の防止、飛来落下災害の防止に努めるとともに、地域住民及び周		作業中 ・ 図示による ・ () 作業終了 ・ 図示による ・ ()
(最近の1986年) 「「「「「「「「「「「「」」」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「「」」 「」 「		_	辺環境への影響を最優先に考慮し、安全かつ円滑なる行程で工事を進めること。		19本代)
(3) 旭 エ中の女主権は	提出先 提出者	⑤ 公害の防止	粉塵の飛散防止のため、高圧ジェットポンプ等により十分な散水を行うこと。		② 知道下未夜の測点は、良江・除し心表直じ、切し心を干ガに収引つ適したが 又は粉じん飛散抑制剤吹付け後、噴霧した粉じん飛散抑制剤が洗験したと思われる 時期において実施する。
建築物除却居	提出先 提出有 原知事(各建築行政窓口) 市(工事請負者代行) 電力会社 市(工事請負者代行)	⑥ 準備作業	(1)解体対象物、敷地状況及び周辺状況の調査 (2)関連法規と各種規制事項の確認		③ アスベスト粉じん濃度の測定方法は、JIS K 3850-1による。
境汚染対策法、資源の有効な利用の促進に関する法律、建設リサイクル法その他関係法令 自家用電気廃止申込	電力会社 市(工事請負者代行)		(3) 各種許可申請、屈い 各種療止届含む)等の手続き及び関係機関との調整 (4) 施工計画書、建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書の作成		次の項目について記録し報告する。 ア・アスペスト含有速材の種類 メッキュの心理
等によるほか、「建設副産物適正処理推進要網」に従い、周辺環境の保全に努める。また、 エ事に伴い発生する廃棄物は遅別等を行い、リサイクル等再資源化に努める。 解 (1.3.9) カース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・			(5) 近隣への工事説明会の実施		イ. 測定点の位置 ウ. 測定日時、天候、気流 - 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1
改 (1.3.11) 接 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械 水道使用中止届	電話会社 市 (工事請負者代行) 水道局 市 (工事請負者代行)	7) 仮設作業	(1) 仮囲い及び出入口の設置 (2) 工事用水、工事用電力の確保		工. 試料採取条件 才. 標本作成方法
「排出ガス対策型雑款機械指定要領」に基づき、指定された建設機器を使用すること。 (対象機種:バックホウ、ブルドーザ、トラクターショベル (車輪式) 、空気圧縮機 (可動式) 、	ガス会社 市 (工事請負者代行) 消防署 市 (工事請負者代行)		(3) 足場、防護施設(防衛がネル、防護機等)、山留め及び構合等の設置 (4) 設備関係引き込み配管及び配線の除去		カ. 使用顕微鏡の種類(開口数を含む) キ. 計数条件 (HSEテストスライドの誘取グループ番号を含む)
油圧ユニット (油圧ハンマ・アースオーガ油圧式網管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機 アースオーガ・オールケーシング振削機・リパーサーキュレーションドリル・アースドリル 圧縮アセチレンガス等の貯蔵取扱屋	消防署 工事請負者 消防署 工事請負者		(5) 解体障害物の移設及び養生		ク. 繊維総数 ケ. 定量限界
地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機の基礎工事用機械のうち、ベース マシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの)、ロー <u>遠路占用許可申請</u>	保健所 市 (工事請負者代行) 道路管理者 工事請負者		(6) 交通誘導員の配置		
ドローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクレーン、発電発動機(可動式(溶接業用機 特殊車両 <u>通行許可申請</u> を含む))但し、以上はディーゼルエンジン(エンジン出力7.50m以上260km以下)を搭載した <u>遠路使用許可申請</u>	道路管理者 工事請負者 警察署 工事請負者				
- ものに限る。 - 適行禁止道路通行許可申請 特定建設作業実施届	警察署 工事請負者 市 (公害係) 工事請負者				
			<u> </u>	4E 7th 6th _ APT 1000 F 7 F	令和7年 嘉麻市 管財課 図 面 No.
				一級建築士第196951号 一柳 茂弥	旧宮野小学校等解体工事
			成島県知事登録 24(1)第 1573号 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. 福岡県知事登録 第1-11670号	承認	縮尺 解体工事特記仕様書 (1) A1:NON A-OO1
					A3:NON

### STATE AND THE PROPERTY OF	### 1. # 1. # 1. # 1. # 1. # 1. # 1. #	7	⑤ 報告書は、(※5 ・ 部)作成し監督職員に提出する。	5 . 汚染物処分工事	(2) 除去物及び汚染物の処分等		① 施工調査	施工調査は、特記による。特記がなければ、次による。				
	Part 197	7 7			(i) 除来したマスペスト今右姉がいけのが頭七辻は、ドロエにして	(9)						
The content of the	1.400	\(\hat{\zeta} \)	测宁占数			7 2						
The content of the	The content of the		(各処理作業室ごと)			2						
	The content of the	有吹				ト 含						
		付け				有成						
	1.00 1.00	初の	◎ セキュリティーゾーン入口 1点 空気の流れ		エ. 保護衣等着脱室で、更にプラスチック袋をかぶせ、密封し、「アスベスト含有吹付け材」	形板						
		除 去	処理作業中 台口・除じんな悪のな出口 除じんな悪			の除	②) 施工計画書					
Table Tabl	Foot Property Pr	¥				五						
Married Company Comp	### Of Control of Cont		〇 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点			7						
The state of the	Table Tabl											
1. AMAIL	2.504				結び、廃棄物処理場の現地確認等を行うこと。							
	## 1		(注) 1. 重要度の記号は、◎は必須、○は条件により必須、△は望ましいという意味である		② 除去したアスペスト含有吹付け材を固化処理する場合							
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Part											
1 14 14 15 15 15 15 15	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.											
1 10 10 10 10 10 10 10	### Company of the Co											
Total	## 1986 Fig. 198											
The content of the	## Committed Com											
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	## APPROXIMATION Proceedings Proceedings Process Proceedings Process Proce											
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	1.2 A	0 45 = 51 =										
Autonomous Control C	A Market	2. 施工計画			Esem 7 9 o							
### ADDRESS STATE OF COLUMN	The content of the			6 . 検査及び後片付け								
### AND CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PROPERT	### Company of the Co											
### STATES OF THE PROPERTY OF	### STATE OF THE PROPERTY OF T							一般建築工事の手続きのはか、地方公共団体が定めている手続きを行う。				
1. Control	1. March Control C						③. 安全衛生管理	(1) 建物内部で除去作業を行う場合は開閉部位(出入口、喚起孔、窓等)は閉とし、				
### Additional Analysis March 1975 1975	### AND SECURE AND PROPERTY OF THE PROPERTY OF											
Part Addition of the Control of	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
1	A SAME											
Company	Transport Tran							Appendix Carrier St				
Total	To The content of		ア、工事名称				④. 除去処理工事					
T. AMADE	1. Aug. 1. A											
Part	The content of the				(ロ) 18月1日1日 秋)夜は、角性肥果呈指陈慌で体帯の海指を行う。							
C SHEET CHARGE CHARGE STREET AND ADDRESS.	## 1 TRANS CARRIED CONTROL OF PRINTING CONTROL			7. 施工記録	(1) 施工記録報告書を作成し、監督員に提出する。							
	## 1 AND THE PROPERTY OF THE P		② 管理組織(工事管理者,石綿作業主任者,特別管理産業廃棄物管理		(2) 施工記録報告書は、下記事項により作成する。			状態として作業を行う。				
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Continue management											
	## Communication											
### ### ##############################	1											
1	Comparison Com											
### ATTEMPT OF THE PROPERTY OF	### 1 Transparence 1 Transparence 2											
### 1998 1998	Part				(前)その他の女子外							
### Section Part Pa	### Market Residency 1		① 添付書類	8 1. 施工調査等				ことの表示を行う。				
### 1 - ********************************	### 1 - PARTY			7 7								
************************************	### Company of the Co			~								
	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			ト 章								
(1) ** PRECING ************************************	**		一般建築工事の手続きの他、次の手続きを行う。	有 保	③ 施工範囲と工事管理区分の確認			(3) 除去物の処分等				
1	3			温	④ 廃棄物などの搬出方法							
### 1 ** ******************************	# ** *********************************			* 0	(ii) アスペスト粉じん濃度測定は6 1(ii)に掛じて行う							
2 - Targarder	2 - ***********************************			味 去								
### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	10 - 20 miles 10	3 . 安全衛生管理		事 2. 施工計画書								
日 10 1	1 (1) 中国 (1)		(1) 休憩室の設置				(5). 検査及び後片付け					
10 11 10 10 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(1) 1 日本の主人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
0. 30.00 1. 1 20.00	1 - 2008년25 1 - 1 - 2008년26 1 - 2008							MINION PROPERTY OF THE INC.				
0.0 日本語 本語の名称を知る。	1 11 1 2 1 1 1 1 2 1						⑥. 施工記録					
● A MARCH 2008	10							(4) 肥土配採取古書は、 / . / により作成する。				
# 1. 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (### 1- 1987 (1982) 1987 (198					П	① 除去方法	外壁ウォールコート除去:集塵装置付ディスクグラインダーケレン 工法	7			
### 1	### 1		HEPAフィルタを備えた負圧防じん装置を設置する。		オ. その他							
### 77/04 指数機能の場合がある。 17 27/04 70 (18 (18 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	### 2 1938.4. 第4 1 1939							内壁VP塗装:粉塵飛散抑制材吹き付け+モルタルハガシ+床養生				
(1) アスペン・中央保護・自動でいる音楽を表現した。	(1) アアイストの発電・指令にの数数の機関の関係を (1) READ (1) PATA							床養生:二重張り 隔離シート厚0.15mm				
### 1	### (1997年) 1 日本日本 1997年		(ii) アスペストの有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。		⑤ 工事の流れ	1(0)						
1	(1) 日本の日本日本の日本日本の日本日本の日本日本の日本日本の日本日本の日本日本の					石綿	② 除去した石綿含有	○解 (6.5.4) による。				
(1) 新立のロップスへの上の変数を必要があると思いた。フラスアック フトールを取り、	1 おおいでアスペンを開始からいた。プラスアク シーナーの大きないのでは、フラスアク シーナーの大きないのでは、フラスアク とでもパラスーのでは、 のでは、					含有	仕上塗材の保管、運搬、処分	・エ思し」で放摘ナフ				
(1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	1 (1) 関連しております。					上		MRC U L 処理する。				
************************************	### 1 1984 #### 1 1984 ### 1 1984 ### 1 1984 ### 1 1984 ### 1 1984 ### 1 1984 ### 1 1984 ### 1 1984 ### 1 19		シート等を用いて隔離する。		① その他必要事項	堂村						
(1) 前級市に利用では、2000年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	(日) 総由金融を行う作業性に、万里等の指生を行う発育は、電力フラフドと 付きが開放している。「日本の主要な (日) 新加速である。「日本の主要な (日) 新加速である。「日本の主要な (日本の主要な (日本の主要					除						
(1) 場合した出来事が出来して、日本の名の主任の存在に、東京シンド作 対象を発生して、	(1) 別表を入れた事業を行いた。実施を包含と、「おおおいた、こままなの企業を行うを含む。大変を記する (2) 対象であると、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、」」 「これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、」」 「これでは、「おおいまないで、これでは、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、「おおいまないで、これでは、これでは、これでは、「おおいまないで、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで				でできません)のでからなく 20/1日と間上が1500でからままに見り。	-						
送売すった今日の前に上でく、中国にアスペストが登出に向きてきる 日本工事に、存在に対してく、中国にアスペストが登出に向きてきる 日本工事に、特別によりません。 日本工事に、特別にはないた。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事によりている。 日本工事に、日本に対している。 日本工事に、日本に対している。 日本工事によりている。 日本工事によりている。 日本工事によりている。 日本工事によりている。 日本工事によりている。 日本工事によりている。 日本工事によりている。 日本工事によりている。 日本工事により、日本に対している。 日本に対している。 日本工事により、日本に対している。 日本工事により、日本に対している。 日本工事により、日本により、日本に対している。 日本工事により、日本により	近畿地子大大を展開する。		(i) 隔離された作業場所において、石綿等の除去を行う作業者は、電動ファン付き	3 . 安全衛生管理								
(1) 商業をは、アスペンが何能してく、所はしてスペンが可能に動かできる	(3) 角型型に大型大学が開催してく、何他に大スペストが開催したでく、一般に大スペストが開催したできる。											
### 1	### 2											
工法	2. 注	4 除去机理工事										
(3) 対象人では、機能が生め、性質が生かり、注意では、機能が開発性により分類面化し、その後に発きする。 (2) 計画するには、機能が開発性により大力温をし、その後に発きする。 (2) 計画するによっては、機能が開発性により、大力によっては、機能が開発性によりてない。	(a) 潜走工程は、現住による。根型が付け相談ではよる。 (3) 7月スペスト会業が付け手を行いた。を砂能に対する。 (3) 2月スペスト会業を付けまたりは、規則制制物の最後では、、大いン等によりアスペスト会業を 付が任意を含える。 (3) 4個もしているアスペトと考えを対した。「東京監修した。「東京監修した。「東京監修した。「東京監修した。「東京監修した。」「東京監修した。「東京監修した。」「東京監修した。「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修した。」「東京監修とより、東京監修した。」「東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東	7. 网及处理工学			(3) 作業場所内では、除去に関する作業以外の作業は厳禁とする。							
(1) アスペストを表現に持ってある。 (2) 辞者ともためっては、少しか年によりする。 (3) 信任しているアスペストを表現に対する場合は、かしか年によりアスペストを表現 (が対す機能を発きる。 (3) 信任しているアスペストを表現に対す機能の発生がある。 (4) 数点を放けた場所を (3) 信任しているアスペストを表現に対す機能の発生がある。 (4) 数点を放けた場所を (4) 数点を対する。 (5) 数は必要がある。 (6) 数は表現がある。 (7) 数は必要にお願い、別点に対した。特定が行れば (7) 数に表現を持たした。 (7) 数は必要にお願い、別点に対した。特定が行れば (7) 数に表現を持たした。 (8) 数によりアスペストを表現に対する。 (9) 数は必要にお願い、別点に対して、対象を使用する場面には、 (9) 数には実現を対象として、 (9) 数には関する。 (9) などうとか。 (9) グスストを表現を対象として、 (9) がよりなからない。 (9) がよりながらない。 (9) がよりながらない。 (9) がよりながらない。 (9) がよりない。 (9) がまりない。 (9) がまりない	(1) アスペスト含素的付付を扱い人参数時期所によりが設定した。その認い数する。 (2) 起すいたがアスペスト含素を付けが見った音もは、資産宣派化、ワイヤーブランぞを使いているスペスト含素を使いてはなりなく。 (3) 信息といるアスペスト含素を付けが見った音もは、資産宣派化、ワイヤーブランぞを使いているスペスト含素を受けられた。と発達した後に、商品配と目と使います。 (4) 数点によった。 (5) 数点によった。 (6) 数点によった。 (7) 数点によった。 (7) 数点によった。 (8) 数点によった。 (8) 数点によった。 (9) 数点によった。 (1) 数点に対していることを提出したは、商品配と目とも、制度が付けが担、温度、アフスキック場の中に入れ、耐じに必要が関係に対して、最近にアスペスト含素を通用の場所方は、「党等所は」5.3.2(2)(の および 「改等所は」 (9) 数点に対して、スペスト含素を使けが対し、温度、アフスキック場の中に入れ、耐じに必要が関係に対して、資産人のようによっな場合に、ではない。 (1) 数点に対して、対し、原式に対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、											
(2) 数字するにあっては、数数数域的の指揮を担払、ケント学用ではファスペストを有機 () 対しているアスペストを有機 () 対している () 対している () 対しているアスペストを有機 () 対している () 対している () 対している () がある () 対している () 対している () 対している () がある () がある () 対している () がある ((2) 新名するにあっては、発展制制機の設施を超低、ケレン物理によりアスペスト合物を が対象を構造した。 (3) 作者しているアスペスト合物を付け付水式とと発掘した。アスペスト合物を 選出したアスペスト合物を対けかれてことを提出した。別に、数点面に取じ人角質の上無色をする。 (4) からいた意味が行かれてことを提出した。別に、数点面に取じ人角質の上無色をする。 (4) からいた意味が行かれてことを提出した。別に、数点面に取じ人角質の上無色をする。 (5) が表出したアスペスト合物を対けがは、選出、アスペテンツ部の申に入れ。 (4) おきた 実際化して、おきない は、できた より変化して、より変化している。 できた より また アスペスト合物を担付をに対して、と、 (4) 新型に対象が表して、記念したアスペストのを取が付けがは、選出、アスペテンツ部の申に入れ。 (5) 新型に対象が表し、受けることとなど変化して、とおりできた。ことなどの変化して、おきのの音が合う。 (5) 新型に対象が表し、受けることとなど変化して、は多したとはな変化して、は多したとはな変化して、は多したとはな変化して、は多したとはな変化して、は多したのものである作う。 (5) 新型に対象が表し、受けることとなど変化して、は多したのものである作う。 (5) および 「物態制力・多して、「会の表していることでは、「会の表していることである。 また 大人と特殊を担任でいることである。 また 大人と教育を担けらいこの。 また 「本の表している」では、「本の表している」とない、「本の表している」とない、「本の表している」とない、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表しいでいる」では、「本の表し、「本の表しいでいる」では、「本の表しいないる」では、「本の表しいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな											
付別を発き換えて。	付付其を指す者とす。											
### (1)	### (1) 除去自上で表が与わたことを提出した後に、発力温に移した後数的上音を表する。 (3) 除去自上でスペスト音を発出ければの影響は以下により、適用は特別による。特別が付わば、 密封場場とする。 (1) 整分機関(工業機関的 (1) 除去自上でスペスト音を促進材の影響方法は、「老等条件」9.1.3.(2)(の および 「念等指針」 9.1.3(3)(のにより、整分機関する。 (2) 施力を影響において、除力したアスペスト音を促進材の影響方法をは、 (3) 新工で高度発音を持ちるとことは必要がある。 (4) 新工で高度発音を持ちる。 (5) 新工で高度発音を持ちる。 (6) 新工で高度発音を持ちる。 (6) 新工で高度発音を持ちる。 (6) 新工で高度発音を持ちる。 (6) 新工で高度発音を持ちる。 (7) 不久不上音を促進材を分割の表示を行う。 (8) カフィスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含まして、アスペスト音を促進材を必要がある。 (8) アスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含まして、アスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含また。 (8) カフィスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含また。 (9) アスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含また。 (1) アスペスト音を促進材を含まり、選手、自己のことを表現して、アスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含また。 (2) カフィスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含また。 (3) 第二位機関がおきセントによって過せする場合は、アスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含まして、アスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含まる。 (4) アスペスト音を促進材を含まり、選手、機関を含まる。 (5) 検索及び後方付か (2) たっとのことを表現して、アスペスト音を促進材の影響方を強し、 (4) 第二位機関がおきセントによって過せまである。 (5) 検索及び後方付か (2) たっとのことを表現して、アスペスト音を促進材を含まり、選手を表現する場合は、アスペスト音を促進材を表現しまして、アスペスト音を促進材を含まり、選手を表現する場合は、アスペスト音を促進材を含まり、選手を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する場合は、「表現を表現する。」 (4) アスペスト音を検索が対象を表する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表現する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表現する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表する。 (4) アスペスト音を発達力を含まれて、で表現を表する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表する。 (4) アスペスト音を検察が対象を表する。 (4) アスペスト音を表現する。 (4) アスペスト音を表現する。 (5) 表現を表する。 (6) 表現を表する。 (6) 表現を表する。 (7) 不見を表現する。 (7) 不見を表現する。 (8) アスペスト音を表現する。 (8) アスペスト音を表達が大きないまする。 (8) アスペスト音を表述する。 (8) アスペスペスト音を表述を表述されていまする。 (8) アスペスペスト音を表述を表述されていまする。 (8) アスペスペスペスト音を表述を表述されていまする。 (8) アスペスペスペスペスト音を表述を表述を表述されていまする。 (8) アスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペスペ		付け材を掻き落とす。									
(4) 十分に発送が行われたことを観した後に、発表面に移じん果然的点料を発する。 (5) 影表したアスペスト含有成が付料等の影響には下により、適用は特別による。特別が切ければ 密封線理とする。 (1) 密材物理(二重体報) (1) 野食の音素にたい、発表したアスペスト含有成が付料は、適宜、プラステック集の中に入れ、 おじん果放射制料学を終すするとにより温素化して、設する。 (2) 数字で高性配数を影響をより、アスペスト含有成は不多で、思がし、「液石検索」である面の表示を行う。 (3) 数字で高性配数を対する。 (4) 所名のよれ合物が付料をレントによって固定する場合は、アスペスト含有成は特別の音楽を表示から移動する場合は、 重要を使用して、アスペスト合有が付料をしまり、アスペスト含有成は特別の音楽を表示から移動する場合は、 重要を使用して、アスペスト含有成は非常を展示と対する。 (3) ガラステック操であるほうである。 (4) アスペスト含有成は非常を表示と対し、「液石検索」である面の表示を行う。 (5) セント間を (1) アスペスト含有成は対する音楽とないこと、 なお、アスペスト含有成は特別の音楽を表示と対しては、「表は表していては、「表は内性」9.1.3 (3) とよる。 (5) 対象が付け材をセントによって固定する場合は、アスペストが発散しないように十分な対象が発表してある。 (6) がフラステック操で三面にからせ、密がし、「液石検索」である面の表示を行う。 (8) ガラステック操で三面にからせ、密がし、「液石検索」である面の表示を行う。 (8) がフラステック操で三面にからせ、密がし、「液石検索」である面の表示を行う。 (8) がフラステック操で三面にからせ、密がし、「液石検索」である面の表示を行う。 (8) がフラステック操で三面にからせ、密がし、「液石検索」である面の表示を行う。 (9) ブラステック操で三面にからせ、密がし、「液石検索」である面の表示を行う。 (9) ブラステック操では下により、「液石検索」である面の表示を行う。 (1) アスペスト含有成型がある場が、通常、気がしては、「表は表していては、「表は内性」9.1.3 (3) による。 (3) がフスペスト含有成型がある場が、通常により、「表面検索」である面の表示を行う。 (4) がフスペスト含有成がけがしまりである面の表示を行う。 (4) がフスペスト含有成がけがした。 表面を表示といる表示といことは、表面を表示といる表示といことは、表面を表示といる表示といる表示といる表示といる表示といる表示といる表示といる表示といる	(4) 今月田島が行われたとを程置した後に、発表面に移じん機能放送解告報告者。 (6) 設施製造び行為等等 発表したアスペスト含物質付料等の処理は似下により、適用は特配による。特定が切ければ 者所規定する。 (1) 避妊娠 (二果保報色) (1) 数表の主要では他に変数を解析がは、適宜、プラステック操の中に入れ。 (4) 数定で高性に変数を解析した、グラステック操作者にした。を対し、「最石機等」である旨の意味を行う。 (5) 確定で高性に変数を解析した、グラステック操作者にして、砂圧したアスペスト含物質温料等の機能を高所から移動する場合は、 (8) 確定で高性に変数を解析した。である。 (9) 確定で高性に変数を解析した。である目の表示を行う。 (2) セント間を (1) アスペスト含物質温料等の機能を高所というアスペスト含物質温料等の機能を高所という移動する場合は、 (3) 意足場所ではいた。アスペスト合物質温料等の機能を高所というアスペスト合物質温料等の機能を高所といる場合に、 (5) 表記 (5) 表示のよう音句を示せ、密封し、「最石機等」である旨の表示を行う。 (2) セントによって面をする場合は、アスペスト合物質温料等の機能・運動、処分等については、「含意外出」9.13 (3) 反び (5) 表示の (3) 表示のなが、密封し、「最石機等」である旨の表示を行う。 (4) プラステック後で二重にかぶせ、密封し、「最石機等」である旨の表示を行う。 (5) 教表が受け相をセントによって面をする場合は、アスペストが機能しないように十分の必要が作用を生むシンドによって面をする場合は、アスペストが機能しないようによう。 (6) プラステック後で三重にかぶせ、密封し、「最石機等」である旨の表示を行う。 (8) プラステック後で三重にかぶせ、密封し、「最石機等」である首の表示を行う。 (8) プラステック後で三重にかぶせ、密封し、「最石機等」である首の表示を行う。 (8) プラステック後で三重にかぶせ、密封し、「最石機等」である首の表示を行う。 (8) プラステック後で三重にかぶせ、密封し、「最石機等」である首の表示を行う。 (8) プラステック後で三重にかぶせ、密封し、「最石機等」である首の表示を行う。 (8) プラステック後で三重にかぶせ、密封し、「最石機等」である首の表示を行う。 (8) プラステック後で一部を表示といる表示を表示を表示を表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示といる表示を表示を表示といる表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といる表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表			4 . 除去処理工事	アスペスト含有保温材等の除去方法・・							
(1) 除去したアスペスト含素保護用の処理なび下により、適用は特配による。特配がなければ 素性利能してお。 (1) 耐力を関係して活動を含まったことは3回面として、1 番目があった。 (1) 耐力を発展したアスペスト含素保護用の処理方法は、「改像界位」 (1) 除去したアスペスト含素保護用の処理方法は、「改像界位」 (1) 除去したアスペスト含素保護用の心理方法は、「改像界位」 (2) かよン ト部化 (3) 削工を対象性が対象性をよった。 (3) 削工の人を対象性が対象性とメントによって固化する場合は、アスペストが無数制をの情報、温素、数分等については、「改像界位」 9.13 (3) (3) による。 (4) ブラスネック操で一重にかぶせ、密封し、「保存機等」である旨の表示を行う。 (3) ブラスネック操で二重にかぶせ、密封し、「保存機等」である旨の表示を行う。 (4) ブラスネック操で三重にかぶせ、密封し、「保存機等」である旨の表示を行う。 (4) ブラスネック操で三重にかぶせ、密封し、「保存機等」である旨の表示を行う。 (5) 概要及び後外付け (3) である旨の表示を行う。 (6) 概要及び後外付け (3) である旨の表示を行う。 (7) たまないに対象性の操制を表示しないでは、「改像界位」 9.13 (3) による。 (4) ブラスネック操で二重にかぶせ、密封し、「保存機等」である旨の表示を行う。 (5) 概要及び後外付け (4) である旨の表示を行う。 (6) 概要及び後外付け (4) である旨の表示を行う。 (7) たまないに対象性の表はでは、「次の条件は対象にないように対象性の表はでは、「次の条件は対象にないように対象にないます。」 (4) 概要なが表示しないでは、「改像界位」 9.13 (3) による。 (4) プラスネック操で二重にかぶせ、密封し、「保存機等」である旨の表示を行う。 (5) 概要など後外付け (5) である旨の表示を行う。 (6) 概要など後外付け (5) である旨の表示を行う。 (7) たまないとは、「ないいとは、「ないとは、ないとは、「ないとは、「ないとは、「ないとは、「ないとは、「ないとは、「ないとは、「ないとは、「ないとは、	(1) 除去物を対す場合を 能力は元子スペスト含有保護性が再発の影響は以下により、適用は特配による。特配がなければ 密放照でする。 (1) 除去作業所において、除去したアスペスト含有保護性の影響が支上により置きがら。 (3) 新変で高限主義を作することにより置素化して、音数する。 (4) 前数で高限主義を持ちているとにより置素化して、音数する。 (5) 新変で高度は表決事で、変にプラステックなかった。 またし、「決定指導」である音の表示を行う。 (2) センシー部化 (1) アスペスト含有保護性等により漢字をきないとよ。 (3) 第四支に決力をである。 またし、「決定指導」である音の表示を行う。 (4) 第一支によって関化する場合は、アスペストが表現とないように十分な理点が多くを表示というである音の表示を行う。 (5) 英文化を特性は、第三、マスペストの表現を表面とり漢字をきないとよ。 (5) 英文化を特性は、第三、マスペストを有保護性等の表すを含む。と、 (6) 数変を対しまた。 (7) アスペスト含有保護性等の情報、運動、気が等については、「気候失吐」5.1.3 (2) 人 など (本務無力)第二でもでいるよ。 (8) 英文化を持能すると言ないとよ。 (9) アスペスト含有保護性等の情報、運動、気が等については、「気候失吐」5.1.3 (2) 人 など (本務無力)第二では、「気候失吐」5.1.3 (2) 人 など (本務無力)第二では、「気候失吐」5.1.3 (2) 人 など (本数など 村田 相互 数 計 が出版とする。 (6) 被変を対しまた。 (7) の表示を行う。 (8) 英工を持定している。 (8) 英工を対している。 (9) アスペストが表現を対している。 (9) アスペストが表現を対している。 (1) かえている。 (1) かえている。 (2) センシー部化 (1) アスペストが表現を対している。 (1) がよるがである音の表示を行う。 (2) センシー部化 (1) アスペストが表現といる。である音の表示を行う。 (3) 英工を対している。 (4) 数変を対している。 (5) 数変を対している。 (6) 被変を対している。 (7) の表示を行う。 (7) の表示を行う。 (8) 本では、アスペストが表現を対している。 (9) による。 (1) 数などの表には、「表に振手にいると、「表に振手にいる」を対している。 (2) 本では、アスペストが表現がである音を表により漢字をでいる。と、 などのようには、「表に振手を対し、「表に振手を対し、「表に振手を対している。」 (2) 本では、アスペストが表現でいる。 (3) 英文は内にいる。である音像は対している。では、「気候失吐」5.1.3 (2) 人の表がでは、「気候失吐」5.1.3 (2) 人の表がでは、「気候失吐」5.1.											
勝志したアスペスト含有吸付け料率の処理は以下により、適用は特配による。特配が切ければ 密放風とする。 (1) 部と処理とする。 (1) 部と処理とする。 (1) 部と処理とする。 (1) 部と処理とする。 (1) 部と処理とする。 (1) 部と処理に「主義機能) (1) 部との人民限的時期等を必要することにより温度化して、記する。 (1) 第五工区域内において、アスペスト含有吸温材やの規理が表面により、アスペスト含有吸温材を直接体のできる。 (1) 第五工区域内において、アスペスト含有吸温材を直接体のできる。 (1) 第五工区域内において、アスペスト含有吸温材を直接体の密度 連集 免分率については、「改善機性」9.1.3 (3) (2) とよう。 (3) が立め上中心 (2) セントー部心 (3) アスペスト含有吸温材を含成することによって耐化する場合は、アスペスト合有吸温材を直接より漢字とせないこと。 なお、アスペスト含有吸温材を含成する。 (3) アスペスト含有吸温材を含成する。 2 表述 免分率については、「改善機性」9.1.3 (3) による。 (4) アスペスト含有吸温材が多をようと、「表面構造」である音の表示を行う。 (5) 経査及び後片付け 7. 6に事じて行う。 (6) ガラスチック後で工事にからせ、密封し、「発石構造」である音の表示を行う。 (6) 経査及び後片付け 7. 6に事じて行う。 (7) アスペスト含有吸温材を含成性、重集 免分率については、「改善機性」9.1.3 (3) による。 (6) が表したアスペスト含有吸過材をおいたと、密封し、「発売構造」である音の表示を行う。 (7) アスペスト含有吸過材が起いたと、密封し、「発売機能」9.1.3 (3) による。 (8) 歴史の表に対している音がは、アスペスト含成性が表しないように十分を発酵は、アスペスト含成性が表面に、一般複形は、アスペスト含成性が表面に、アスペスト含成性が表面に、アスペスト含成性が表面に、 2 機変を使用して、アスペスト含成性がある。 2 機変及び後片付け 7. 6に事じて行う。 (8) 歴史の表に対している音がは、アスペスト含成性が表面による音が表面において、アスペスト含成性が表面による音が表面において、アスペスト含成性が表面による音が表面において、アスペスト含成性が表面による。 2 機変及び後片付け 7. 6に事じて行う。 (8) 歴史の表において、アスペスト含成性が表面による。 2 機変などはいこと。 2 機変など、アスペスト含成性が表面による音が表面において、アスペスト含成性の表面による。 2 機変などはいこと。 2 機変など、アスペスト含成性の表面によるにはいて、アスペスト含成性の表面によるにはいて、アスペスト含成性の表面によるにはいて、アスペスト含成性の表面によるにはいて、アスペスト含成性の表面によるにはいて、アスペスト含成性の表面によるにはいて、アスペスト含成性の変化を表面により、アスペスト含成性の変化を表面により、アスペスト含成性の変化を表面によりによるにはいて、アスペスト含成性の変化を表面によりによるにはいて、アスペスト含成性の変化を表面によりによるにはいて、アスペスト含成性の変化を表面によりによるにはいています。 2 機変などの表面によるにはいています。 2 機変などはいようによるにはいています。 2 機変などはいようによるにはいています。 2 機変などはいようにはいています。 2 機変などはいようにはいています。 2 機変などの表面によるにはいています。 2 機変などのではいるとないではいています。 2 機変などのではいていているとないではいているとないではいています。 2 機変などのではいています。 2 機変などのではいているとないではいていていていていていていていないではいていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	野老したアスペスト含有使け付着等の処理は以下により、適用は特配による。特配がなければ 世界機理 (二重級権型) 1.3 (3) (のにより、置きたアスペスト含有度温料の処理方法は、「改善発生」 1.3 (3) (のにより、置きた政策を放析することにより返謝化して、密封する。											
(1) 密封を理 (二重発電池) (1) 設金作業所において、設金したアスペスト含有政性付材は、適宜、プラスチック後の中に入れ、 物に人服機能制制制を設合することにより温剤化して、密封に力を設まする。 (2) 的重な (高性能質型解機能により、プラスチック接近に特別では多数にの表表を行う。 (2) セメント環化 (1) アスペスト含有異型研付材をセメントによって膨化する場合は、アスペスト含有異型研制をの業性、運搬、気分等については、「改修兵仕」9.1.3 (3) による。 (3) プラスチック後で二重にかぶせ、密封し、「東右線等」である旨の表示を行う。 (3) プラスチック後で二重にかぶせ、密封し、「東右線等」である旨の表示を行う。 (3) プラスチック後で二重にかぶせ、密封し、「東右線等」である旨の表示を行う。 (4) アスペスト 言葉型研修とないように十分な現皮が無られる配合とする。 (5) プラスチック後で二重にかぶせ、密封し、「東右線等」である旨の表示を行う。 (5) プラスチック後で二重にかぶせ、密封し、「東右線等」である旨の表示を行う。 (6) 様変及び後片付け (5) 成は「石橋等」である旨の表示を行う。 (6) 様変及び後片付け (6) 様式会社 村田相互設計 (日宮野小学校等解体工事 (日本校学校等解体工事 (日本校学校等解析工事 (日本校学校等解体工事 (日本校学校等解体工事 (日本校学校等解析工事 (日本校学校等解体工事 (日本校学校等解析工事 (日本校学校等解析工事 (日本校学校等) (日本校学校学校等) (日本校学校等) (日本校学校等) (日本校学校等) (日本校学校等) (日本校学校等) (日本校学校等) (日本校学校学校等) (日本校学校等) (日本校学校学校学校等) (日本校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学校学	(1) 数よ作業所において、除去したアスペスト含有使付付は、適宜、プラスチック森の中に入れ、 物じの無数数時間等を検索することにより温度化して、密封する。 (ii) 前室文は性底及空隙機関により、プラスチック操で信息している時じんを除去する。 (iii) 新立文は性底及空隙機関により、プラスチック操で信息している時じんを除去する。 (iii) 新立文は大き素を受け付着とている時による場合は、 通量を使用して、アスペスト含有産温材等の度材を高所から移動する場合は、 通量を使用して、アスペスト含有産温材等の度材を高所から移動する場合は、 通量を使用して、アスペスト含有産温材等の度材を高所から移動する場合は、 通度を使用して、アスペスト含有産温材等の度材を高所から移動する場合は、 通常を使用して、アスペスト含有産温材等の度材を高所から移動する場合は、 通常を使用して、アスペスト含有産温材等の度材を高所から移動する場合は、 通常を使用して、アスペストが発放しないようにする。 なが、アスペスト含有産温材等の度材を高所から移動する場合は、 通常の度影、運動、気分等については、「改修弁性」9.13 (3) (3) (よる。 7. 8 に奉じて行う。 を表現が使用する。 株式会社 村田相互設計 製IRATA 5000 ARCHITECT & ASSOCIATES.		除去したアスベスト含有吹付け材等の処理は以下により、適用は特記による。特記がなければ									
(i) 除去作業所において、除去したアスペスト合有效付け材は、適宜、プラスチック操の中に入れ、 粉化人機数即制所等を数略することにより温度化して、密封する。 (ii) 前室又は法浄室で、更にプラスチック操とがま、世対し、「森石稿等」である旨の表示を行う。 (iii) 前室又は法浄室で、更にプラスチック操をかがせ、密封し、「森石稿等」である旨の表示を行う。 (iii) アスペスト合有效付け材をセメントによって膨化する場合は、アスペストが角散しないように十分な強度が得られる配合とする。 (iii) アスペスト合有效付け材をセメントによって膨化する場合は、アスペストが角散しないように十分な強度が得られる配合とする。 (iii) プラスチック操で二重にかぶせ、密封し、「森石稿等」である旨の表示を行う。 (iii) アスペスト合有效付け材をセメントによって膨化する場合は、アスペストが角散しないように十分な強度が得られる配合とする。 (iii) アスペスト合有效付け材をセメントによって膨化する場合は、アスペストが角散しないように十分な強度が得られる配合とする。 (iii) アスペスト合有效付け材をセメントによって膨化する場合は、アスペストの有效を開放していまうによる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないできる。 (iii) 声音が表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示と呼ばないで、表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	(i) 除去作業所において、除去したアスペスト含有役目特を改布することにより温潤化して、密封する。 (ii) 前室では性表質を開発機能は、一方ステック操い付着している時化を除去する。 (iii) 前室では性表達を開発しり事子・クないと、密封し、「藤石綿等」である旨の表示を行う。 (iii) 第三の工場大学で、更にブラスチック操いが表して、アスペスト含有役温材等の原材を高所より第下させないこと。 なお、アスペスト含有役温材等の原材を高所として、アスペスト含有役温材等の原材を高所としまし、「改修共仕」9.1.3 (3) による。 (iii) アスペスト含有役温材等の原材を高所として、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iii) アスペスト含有役温材等の原材を高所として、アスペスト含有役温材等の原材を高所として、アスペスト含有役温材等の原材を高所として、アスペスト含有役温材等の原材を高所として、アスペスト含有役温材等の原材を高所として、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iii) 第三の場所において、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iii) 第三の場所において、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iii) 第三の場所において、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iii) 第三の場所において、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iii) 第三の場所において、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iiii) 第三の場所において、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iiii) 第三の場所において、アスペスト含有役温材等の原材を高所とします。 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii			5 . 汚染物処分工事								
 粉じん鬼教師制料等を販売することにより温潤化して、密封する。 (ii) 前室で高性能及空間検験により、プラスチック屋と付着している粉じんを除去する。 (iii) 前室で高性能及空間検験により、プラスチック屋と付着している粉じんを除去する。 (iiii) 前室で高性能及空間を高所から移動する場合は、	おじん飛散抑制剤等を散布することにより温潤化して、密封する。 (ii) 削重で高性能養性により、ブラスチック染化が出、世別し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iii) 削重で高性能養性により、ブラスチック染化が出、世別し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iii) ガラスチック染化のより、アスペスト含有混造研与の優先、運動、処分等については、「溶修共仕」9.1.3 (3) による。 (iii) ブラスチック染で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 6. 検査及び後片付け 7.6に率じて行う。 6. 検査及び後片付け 7.6に率じて行う。 (ii) ガラスチック染で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iii) ガラスチック染で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iii) ガラスチック染で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iii) ガラスチック染で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iii) ガラスチック染で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iiii) ボスペスト含有混発性を高所とり落下とせないこと。 及び「溶疹指針」9.1.3 (3) による。 (iiii) ガラスチック染で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 (iiii) ボスペスト含有混発性を高所と移動する場合は、 アスペスト含有混造体を高所から移動する場合は、 通販 機能を使用して、アスペスト含有混造体を高所と移動する場合は、 通販 機能を使用して、アスペスト含有混造体を高所と移動する場合は、 通販 機能を使用して、アスペスト含有混造体を高所とないこと。				9.1.3(3)(4)により、密封処埋する。							
(3) 前室で高性族質を指数機により、ブラスチック袋に付着している粉じんを除去する。 (3) 前室で高性族質を指数で、更にブラスチック袋をかぶせ、密封し、「庚石綿等」である旨の表示を行う。 (2) セメント圏化 (1) アスベスト含有度温料等の保管、運搬、処分等については、「改修共仕」9.1.3 (3) による。 (3) だいての参加計 9.1.3 (3) による。 (4) グラスチック袋で二重にかぶせ、密封し、「庚石綿等」である旨の表示を行う。 (5) 検索及び後片付け 7.6に準じて行う。 本式会社 村田相互設計 原品料率を結 201度 1573号 開展料率を観 201度 1573号 「成品料率を結 201度 1573号 開展料率を報 201度 1573号 「成品料率を結 201度 1573号 開展料率を終 第1-11670号 「成品料率を結 201度 1573号 「成品料率を指 201度 1573号 「成品料率を結 201度 1573号 「成品料率を指 201度 1573号 「成品料	(ii) 前室で高性能真空樹除機により、プラスチック段をかぶせ、密封し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iii) 前室又は法洋室で、更にプラスチック段をかぶせ、密封し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iii) ガラスチック段で、運転・地グ・開発しないように十分な強度が得られる配合とする。 (iii) ブラスチック段で、重にかぶせ、密封し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iii) ブラスチック段で、電にかぶせ、密封し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iiii) ブラスチック段で、電にかぶせ、密封し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iiii) ブラスチック段で、電打し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iiii) ブラスチック段で、電にかぶせ、密封し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iiii) ブラスチック段で、電対し、「庚左線等」である旨の表示を行う。 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii				(ii) 施工区域内において、アスベスト含有保温材等の廃材を高所から移動する場合は、							
(2) セメント圏化 (i) アスペスト合有吹付け材をセメントによって圏化する場合は、アスペストが飛散しないように十分な強度が得られる配合とする。 (ii) プラスチック袋で二重にかぶせ、密封し、「廃石綿等」である旨の表示を行う。 株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. 株式会社 村田相互設計 (点展知事登録 24(1)第 1573号 福岡県知事登録 34(1)第 1573号 福岡県和事登録 第1-11670号 福田県和事登録 第1-11670号 福田・東京 第1-11670号 福田・東京 第1-11670号 福田・東京 第1-1670号 福田・東京 第1-167	(2) セメント固化		(ii) 前室で高性能真空掃除機により、プラスチック袋に付着している粉じんを除去する。		揚重機を使用して、アスベスト含有保温材等を高所より落下させないこと。							
(i) アスペスト合有吹付け材をセメントによって個化する場合は、アスペストが飛散しないように十分な強度が得られる配合とする。 (ii) プラスチック袋で二重にかぶせ、密封し、「廃石締等」である旨の表示を行う。 株式会社 村田 相互 設 計	(i) アスペスト合有吹付け材をセメントによって個化する場合は、アスペストが飛散しないように十分な強度が得られる配合とする。	1										
分な強度が得られる配合とする。 (ii) ブラスチック袋で二重にかぶせ、密封し、「廃石練等」である旨の表示を行う。 6. 検査及び後片付け 7. 6に準じて行う。 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. 一級建築士事務所 広島県和事登録 24(1)第 1573号 相関原知事登録 第1-11670号 一級建築士事務所 広島県和事登録 24(1)第 1573号 相関原知事登録 第1-11670号 一級建築士事務所 日宮野小学校等解体工事 一級建築士事務所 日宮野小学校等解体工事 日宮野小学校等解体工事	分な強度が得られる配合とする。				次で、(水路を1018日 1 g. 1. g. (g) (一年の。							
				6. 検査及び後片付け	7.6に準じて行う。							
#	株式会社 村田相互設計											
株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. ASSOCIATES. WIRATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. ASSOCIATES.	株式会社 村田相互設計							4元为6.6代 1金 724 727	一級建築士第196951号		-	図面 No.
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.	MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. MIRATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. MIRATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. MIRATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.							▲ 株式会社 村田相互動計	l I	旧宮野小学校等解体工事		
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.	MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.							[加州州中亚林 24(1)第15/5号			縮尺	┪ !
i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	A3:NON							MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES. 福岡県知事登録 第1-11670号		解体工事特記仕様書(2)	A1 NON	A-002



外部仕上表 (A) (B) 外部階段 手摺壁:コンクリート打放しの上 ウォールコート吹付 上裏:コンクリート打放しの上 アクリルリシン吹付 屋 根(1) (R付) 屋根:アスファルト露出防水仕上 コンクリート打放しの上 ウォールコート吹付 床:磁器角タイル貼 天井:アルミスパンドレル貼り 竪樋: VPφ120 巾 木 犬 走 り 軒裏:コンクリート打放しの上 アクリルリシン吹付 モルタル金ゴテ仕上 柱型:小口タイル貼り モルタル金ゴテ仕上 (目地切) アスファルト露出防水仕上 スロープ部:モルタル コンクリート打放しの上 ウォールコート吹付 玄関:APL-1. 6mmm加工焼き付け パラペット 玄関庇 屋根:スレート 軒裏:オリエンタルメタル O.5 mm加工

内部仕上表

内部仕上表									
階	室名	床	巾木		腰壁	壁	天 井		備考
PE	± 1	仕 上	仕 上	н		仕 上	仕 上	天井高	Net2
	玄関	磁器100角タイル	上欅 テラゾブロック	100		アルミサッシ(テンパーライト)	プラスターボードt9 目透かし貼 EP塗装	2, 700	下足箱
	ホール	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装薄茶	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	プラスターボードt9 目透かし貼 EP塗装	2, 600	
	休憩室1	豊敷き	豊寄せ	-		防炎クロス貼	杉貼柾ベニヤ 目透かし貼	2, 400	
	休憩室踏込	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	4 0		防炎クロス貼	杉貼柾ベニヤ 目透かし貼	2, 700 2, 530	
	職員男子便所	磁器モザイクタイル貼り	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 500	大便器(1)、小便器(2)、洗面器(1)
	職員女子便所	磁器モザイクタイル貼り	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 500	大便器(2)、洗面器(1)
	校長室	モザイクパーケット(下地モルタル塗) +ダンケル3回塗	木製 t4.8 OP塗装	100		防炎クロス貼(モルタル下地)	防炎クロス貼 ベニヤ下地	3, 000	洗面器、カガミ、店。カーテンBOX
	放送室	カーベット貼り	木製 t4.8 0P塗装	100		シナ有孔ベニヤ貼t4 OP塗装	防音吹付材t15 (下地プラスターボードt9)	3, 000	戸棚、カーテンBOX
	倉庫2	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 0P塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 500	棚
	湯沸室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 500	流し台、ガス台、吊戸棚、レンジフード
	職員室	モザイクパーケット (下地モルタル塗) + ダンケル3回塗	木製 t4.8 0P塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装 シナベニヤ貼t4 OP塗装	ジプトーンt9	3, 000	掲示板、黒板1.8×0.9、2.7×0.9 洗面器、カーテンBOX、戸棚
	男子更衣室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100		シナベニヤ貼t4 OP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 700	
	女子更衣室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨き VP塗装 H800	シナベニヤ貼t4 OP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 700	
校舎権	保健室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装 シナベニヤ貼t4 OP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	3, 000	流し台、黒板1.8×0.9、洗面器、カガミ 戸棚、掃除具入、カーテンBOX
	印刷室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	モルタル刷毛引きリシン吹付	-	
	売店	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 400	カウンター
	配膳室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 700	配繕台
	厨房	モルタル金ゴテ仕上		-	100角タイル貼 H1100	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 700	
	下洗室	モルタル金ゴテ仕上	モルタル金ゴテ磨き	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 700	洗面器、カガミ
	食品庫	モルタル金ゴテ仕上	モルタル金ゴテ磨き	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 500	棚
	休憩室2	タタミ	豊寄せ	-		防炎クロス貼	杉貼柾ベニヤ 目透かし貼	2, 500	
	厨房便所	磁器モザイクタイル貼 モルタル金ゴテ仕上	磁器モザイクタイル貼 モルタル金ゴテ仕上	100	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 400	洗面器、カガミ
	図書室	モザイクパーケット (下地モルタル塗) + ダンケル3回塗	木製 t4.8 OP塗装	100	シナベニヤ貼t4 OP塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装 <u>シナベニヤ貼t4 OP塗装</u>	ジプトーンt9	3, 000	カウンター、書架棚、暗幕BOX
	生徒昇降口	磁器100角タイル貼 塩ビシート t2.5(下地モルタル塗)(下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装薄茶	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装 シナベニヤ貼t4 OP塗装	プラスターボードt9 目透かし貼 EP塗装	2,800	下足箱
	学習ルーム(教材室)	モザイクパーケット(下地モルタル塗)+ダンケル3回塗	木製 t4.8 OP塗装	100	シナベニヤ貼t4 OP塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	ジプトーンt9	2, 700	
	生徒男子便所	磁器モザイクタイル貼	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 500	大便器(3)、小便器(6)、掃除具流し(1)
	生徒女子便所	磁器モザイクタイル貼	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 500	大便器(6)、掃除用流し(1)
	男子洗面	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 450	洗面器(2)、カガミ 和便器(1)
	女子洗面	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 450	洗面器 (3) 、カガミ
	倉庫1	モルタル金ゴテ仕上	モルタル金ゴテ仕上	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	モルタル刷毛引きリシン吹付	-	
	普通教室	モザイクパーケット (下地モルタル塗) + ダンケル3回塗	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨き VP塗装 H800 シナベニヤ貼t4 0P塗装	モルタル金ゴテ磨き VP塗装 シナベニヤ貼t4 0P塗装	ジプトーンt9 VP	3, 000	戸棚A A',黒板6×1.2, 背面黒板1.8×0.9 カバン置場、掃除具入、掲示板
	廊下	塩ビシート t2.5(下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装薄茶 木製 t4.8 0P塗装	100	モルタル金ゴテ磨き VP塗装 H800 シナベニヤ貼t4 0P塗装	モルタル金ゴテ磨き VP塗装 シナベニヤ貼t4 0P塗装	プラスターボードt9 目透かし貼 EP塗装	2, 650	
-			1			1	İ		1

※	防規則等の関係法令を厳守の上、適正に処理する。			一級建築士第196951号	令和7年 嘉麻市 管財課		図面 No.
屋根:アスファルト露出防水仕上[アスファルトルーフィングにアスベスト含有]	巾木:モルタル金ゴテ磨き VP塗装[下地調整材にアスペスト含有]	株式会社 村田相互設計	一級建築士事務所	一柳 茂弥	旧宮野小学校等解体工事		
外壁:ウォールコート吹付[主材にアスベスト含有]	壁:モルタル金ゴテ磨き VP塗装[下地調整材にアスベスト含有]		広島県知事登録 24(1)第 1573号			- ke P	- I
屋根:スレート[アスファルト含有みなし]	天井:石綿太平板[主材にアスファルト含有]	MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.	福岡県知事登録 第1-11670号	74. 86	校舎棟 仕上表(1)	A1:NON	A-004
床:カーペット貼り[接着剤アスベスト含有みなし]						A3:NON	1

 뉴	7.4	 - 主

pti.	室 名	床	巾木		腰壁	壁	天 #		備考
階	単 名 □	仕 上	仕 上	н		仕 上	仕 上	天井高	- 1/H - 45
	家庭科準備室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シナベニヤt4日透かし貼 0P塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	有孔石綿板t4 目透かし貼 VP塗装	3, 000	戸棚、洗面器、カーテンBOX
	家庭科教室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シナベニヤt4目透かし貼 OP塗装	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	3, 000	戸棚、洗面器、カーテンBOX
	図工準備室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シ <u>ナベニヤt4目透かし貼 0P塗装 H8</u> 00	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	有孔石綿板t4 目透かし貼 VP塗装	3, 000	
	コンピュータ室 (図工教室)	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シナベニヤt4目透かし貼 OP塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	3, 000	戸棚AB, 黒板1.8×0.9,掃除具入
	音楽準備室 (児童会室)	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100	シナベニヤt4目透かし貼 OP塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	有孔石綿板t4 目透かし貼 VP塗装	3, 000	戸棚、カーテンBOX
	音楽教室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100		シナ有孔ベニヤ貼 OP塗装	防音吹付材t15 (下地プラスターボードt9)	3, 000 2, 700	バランス黒板 (2.6×1.8) 、掲示板 掃除具入、カーテンBOX
	配膳室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	100			石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	2, 700	
	理科準備室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シナベニヤt4目透かし貼 OP塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	有孔石綿板t4 目透かし貼 VP塗装	3, 000	戸棚、洗面器、カーテンBOX
校舎 2階	理科教室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シナベニヤt4目透かし貼 OP塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板t6 目透かし貼 VP塗装	3, 000	バランス黒板 (2.6×1.8) 、掲示板 標本棚、流し、カーテンBOX
	教材室	モザイクパーケット+ダンケル3回塗	木製 t4.8 OP塗装	100	シナベニヤt4目透かし貼 OP塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	ジプトーンt9	2, 700	配膳棚
	男子便所	磁器モザイクタイル貼	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板 目透かし貼 VP塗装	2, 450	大便器(3)、小便器(7)、掃除用流し(1)
	女子便所	磁器モザイクタイル貼	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板 目透かし貼 VP塗装	2, 450	大便器(6)、掃除用流し(1)
	男子洗面	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板 目透かし貼 VP塗装	2, 400	洗面器(2)、カガミ
	女子洗面	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	-	-	100角タイル貼 H1250	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	石綿大平板 目透かし貼 VP塗装	2, 400	洗面器(3)、カガミ
	普通教室	モザイクパーケット+ダンケル3回塗	木製 t4.8 OP塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シナベニヤt4日透かし貼 0P塗装 H800	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 シナベニヤt4目透かし貼 0P塗装	ジプトーンt9	3, 000	戸棚A B, 黒板3.6×1.8, 背面黒板1.8×0.9 カバン置場、掃除具入、カーテンBOX
	廊下	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装 木製 t4.8 0P塗装	100	モルタル金ゴテ磨きVP塗装 H800 シナベニヤt4目透かし貼 0P塗装 H800	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	プラスターボードt9 目透かし貼 EP塗装	2, 700	
	A階段室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	木毛セメント板下地アクリルリシン吹付	-	
	B階段室	塩ビシート t2.5 (下地モルタル塗)	モルタル金ゴテ磨き VP塗装	100		モルタル金ゴテ磨き VP塗装	プラスターボードt9 目透かし貼 EP塗装	-	

※ 印の建材(アスペスト含有建材)には石綿が含まれている為、石綿障害予防規則等の関係法令を厳守の上、適正に処理する。	
巾木:モルタル金ゴテ磨き VP塗装[下地調整材にアスベスト含有]]
壁: モルタル金ゴテ磨き VP塗装[下地調整材にアスベスト含有]]
天井:石錦太平板・有孔石錦板[主材にアスファルト含有]] 4
	7



一級建築	工事物所
広島県知事登録 福岡県知事登録	24(1)第 1573 第1-11670

株式会社 村田相互設計

	一級建築士第196951号	令和7年 嘉麻市 管財課		図面Ⅰ
1573 목	一柳 茂弥	旧宮野小学校等解体工事		
1670号	承認	校舎棟 仕上表(2)	縮 尺 A1:NON A3:NON	A -

